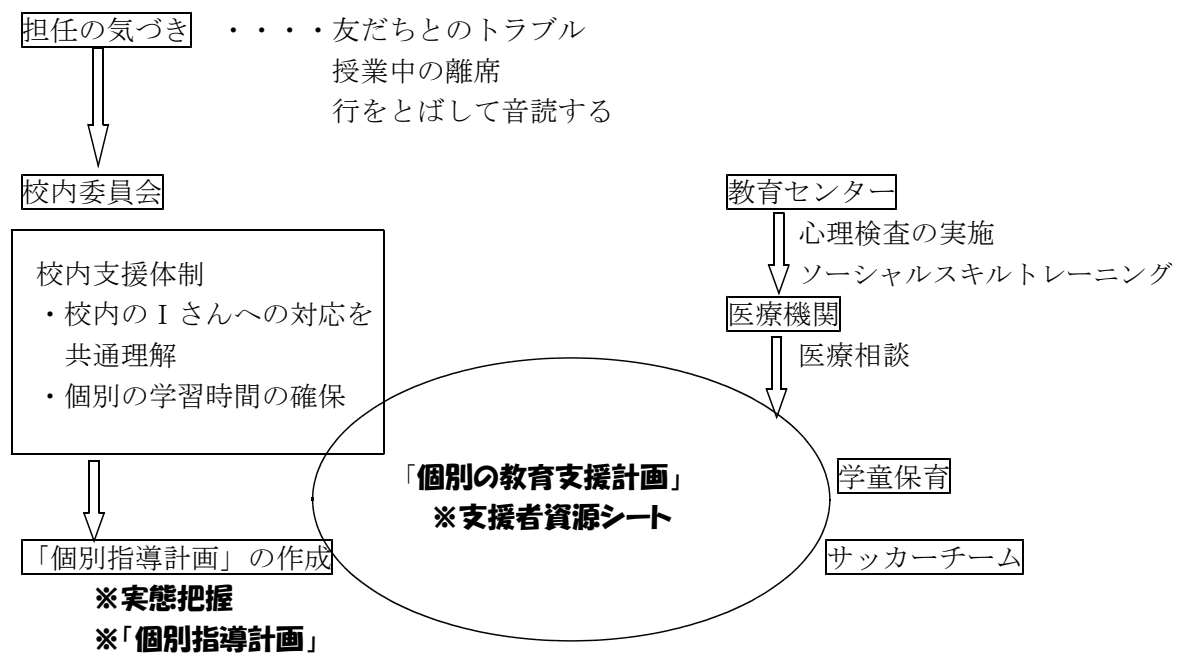


**事例⑧ 小学3年生 Iさん**  
 (シートを活用せずに「個別の教育支援計画」を作成した事例)

《児童生徒の様子と保護者や担任の願い》

Iさんは、通常の学級に在籍している小学校3年生です。  
 教育センターから紹介された医療機関では、ADHDとLDの診断を受けました。  
 大人とのかかわりを好み、手伝いなどは進んで行うことができます。また、友だちとも一緒に活動したいという気持ちがあるのですが、トラブルになることが多くうまくかかわっていくことができません。学習面では、板書や教科書の行をとばして読むことがあり、助詞等の正しい表記も難しいようです。  
 保護者は、読み書き等については個別の工夫・配慮が必要であると感じています。  
 担任は、Iさんに苛立った時の気持ちの切り替えができるようになってほしいと願っています。

《「個別の教育支援計画」作成までの流れ》



**「個別の教育支援計画」**

- ・実態把握
- ・「個別指導計画」
- ・支援者資源シート